

# おおぞら 議会だより

## CONTENTS

3月定例会、予算審査特別委員会を開催	2
議員4名が一般質問	6
①岩原議員 公共施設等総合管理計画について ほか	
②大泉議員 外国人技能実習生確保のための環境整備についてほか	
③鈴木議員 私たちの暮らしと定住自立圏について ほか	
④上地議員 障害者総合支援法の取り組みについて	
議会報告会を開催	14



No.68

OZORA  
GIKAI DAYORI

[発行日]

令和5年(2023年)5月31日

大空に  
人花心  
育むまち

「令和4年度 議会報告会・町民との意見交流会」を2月18日に開催しました。

東藻琴・女満別両地区合わせて48名の方に参加していただき、たくさんのご意見等をいただきました。





# 新年度まちの予算をチェック!

～令和5年度 予算審査特別委員会～

## 新年度予算 総額 119億9,138万円 を可決

令和5年第1回定例会に提案された令和5年度大空町各会計予算は、議会に「予算審査特別委員会」を設置し、慎重に審議しました。

審議の結果、提案内容のとおり可決すべきものと決定し、議員全員の賛成により可決されました。

本特別委員会での総括質疑・答弁の概要をお知らせします。

※内容は要約しております。詳細は、両地区図書館または議会HPの「会議録」をご覧ください。

### ◎一般会計歳出

#### 小・中学校管理費

川村委員

**問** 光熱水費が学校関係だけで年間で600万円ほどの予算が計上されていました。今後、町としてどのように対応していくのか伺う。

**総務課長** 今後、さらに値上げされるようなことも想定されていますので、状況を注視して対応していきませんが、将来的には、各公共施設を整備するにあたって、再生可能エネルギーの導入にも配慮しながら検討していく必要があると思

#### 移住・定住促進事業

森賀委員

**問** プロトオゾラプロジェクトで、町長からも社会実現に向けてという話がありました。具体的な考えがあれば伺う。



プロトオゾラプロジェクト

**移住・定住支援室長** 町の未来をつくるプロジェクトとして、移住プロジェクトの一環としてスタートした事業です。令和4年度については、町の関係人口創出をテーマに大空高校生とタッグを組み、12月に町長や各議員、町の事業者の前で政策提言を実施したところです。

**町営牧野管理費** 森賀委員 **問** 来年度からの牧野の有効利用について、具体的な方策があれば伺う。

**産業課長** 町営牧野については、令和4年度から閉鎖し、令和5年度からは預託事業を行わないと決めたところです。今後の牧野の使い方ですが、現時点で具体的にどう使っていくかという対応策はありませんが、牧野以外の利用の仕方今後検討していくことになると思います。

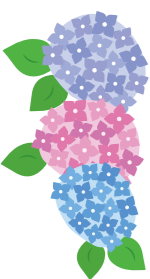
#### 学校教育研究会補助金

森賀委員

**問** 小学校、中学校の連携を今年から進めていくということですが、東藻琴、女満別地区、両地区の生徒児童の交流についても重要だと考えます。

**教員** 教育の振興、充実を図っていくための小中高等学校の教職員、また、認定こども園の職員で構成する大空町学校

**町長** 各課にわたって、移住に係る、あるいは子育てに係るような政策があります。これは直接的な移住対策だけではなく、庁内部で連携し合いながら、積極的に取り組んでまいりたいと思います。



令和5年  
3月定例会  
3月7日～14日

# 令和4年度一般会計予算に 1億7,318万円を減額補正し、 総額は91億1,874万円に

大空町議会3月(令和5年第1回)定例会は、人権擁護委員などの人事案件、令和4年度一般会計などの補正予算、条例改正、議会側議案を審議しました。  
また、令和5年度予算が提案され、「予算審査特別委員会」を設置し、審議を行ないました。

#### 人事案件

人権擁護委員に鎌田宏博氏、河崎琢哉氏、坂巻重子氏が推薦され、適任と答申しました。

また、教育委員会委員に山神勇二氏が任命、オホーツク町村公平委員会委員に山下英二氏が選任され、同意しました。

#### 計画の一部変更

過疎対策事業債の充当を予定している6事業を大空町過疎地域持続的発展市町村計画に追加することについて、可決しました。

#### 条例制定・一部改正

大空町個人情報保護法施行条例制定など、1条例の制定、8条例の一部改正について、可決しました。

#### 令和4年度会計補正予算

令和4年度会計補正予算令和4年度一般会計のほか、7特別会計の補正

予算について審議し、可決しました。

#### ごみ焼却施設維持管理費 担金

鈴木議員

**問** ごみ焼却施設維持管理負担金1,582万6千円が減額になっています。他の自治体からの受け入れごみの減少ということですが、詳細を説明していただきたい。

#### 住民福祉

網走市からは、紙おむつ、斜里町からは、ゴム長靴を一般廃棄物焼却施設で受け入れ、搬入されたごみの重量により、それぞれの維持管理費を負担していただいています。

令和4年度当初の受け入れ想定量は、網走市から480トン、斜里町から72トンでしたが、実質搬入量が網走市170トン、斜里町22トンの合計192トンとなり、想定より359トン減少する見込みです。それに伴う減額補正です。主な要因は、搬入量が

想定より少なかったこと、焼却施設の炉への負担を軽減するために受け入れ量の調整を図ったことによる搬入量減少によるものです。

#### 議会条例制定

大空町議会の個人情報保護に関する条例を制定しました。

大空町議会における個人情報保護の適正な取扱いに必要事項を定めるとともに、議会が保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める個人の権利を明らかにすることにより、議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利、利益を保護することを目的にしています。

#### 要望意見書

「食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政

策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める要望意見書」、「水田活用の直接支払交付金見直しにあたっての畑地化支援に係る要望意見書」について可決しました。

#### 令和5年度会計補正予算

3月定例会に提案されていた新年度予算を審査可決後、新型コロナウイルスの年度内2回の接種に要する経費として、一般会計に3,292万2千円を増額補正する提案がありました。

対象となる医療従事者65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する方等への迅速な対応が必要との観点から提案予算を原案どおり可決しました。

財源は、全額ワクチン接種体制事業国庫補助金・負担金を充当する予定です。



教育研究会について、連携をさらに深めていくような研究体制づくりについて後努めてまいりたいと思います。

#### 移住・定住促進事業

鈴木委員

**問** 移住・定住の関係について、地域材利用促進事業、定住対策関係事業それぞれの課で計上されています。結婚新生活支援事業については福祉サイドですが、定住促進の意味が強いニュアンスを受けます。各課関係の連携体制、予算執行上での配慮について再確認をさせていただきます。



小・中学校管理費

鈴木委員

問 光熱水費が増加している状況に関して、財源等の関係を含め、苦慮していると思います。教育関係では、学校の学びの環境をよくするためエアコンの設置をしていただくという提案がありました。今後、電気料が増えていくという状況で、町として今後どうしていくのか伺う。

水産業振興事業

岩原委員

問 大幅な不漁が続いている場合の漁業者への支援について、町の考えがあれば伺う。

産業課長

それに関する支援者だけではありませんが、中小企業への物価高騰対策の支援として、漁業者の方も入れて支援をさせていただいたところですが、また、新年度予算に向

けて、シジミの種苗対策、大規模な施設に対する支援、また、湖の調査、それらに対する事業費を上乘せして支援に向けて取り組む考えです。

研修会館管理費

岩原委員

問 研修会館の基本計画の中で、歴史文化の郷土保勝会、埋蔵文化財の審議会など、歴史がある部分について検討しているか伺う。

二テイスクールというところで、学校運営協議会の設置の部分で、今後の、自治体との関係、制服購入費助成について伺う。

生涯学習課 課長

コミュニティスクールへの設立に向けた動きとして、地域学校協働活動を展開していくというご説明をさせていただいています。各自治会長からの意見としまして、こういった活動をやるのか、今、高校がどういったことをしているのかを知る機会を設けてほしいという意見をいただいたところですが、

教育の質を高めたいと考えているところです。

大空高等学校管理費

岩原委員

問 旧女満別高校校舎の今後の利活用について伺う。

生涯学習課 課長

女満別高等学校の校舎については、令和3年の3月に北海道から無償譲与という形で、現在は大空町の財産という形になっております。この北海道から無償譲与の協定の中で、10年間は学校として使用

総括質疑

生涯学習課の職員配置について

福田委員

問 社会教育グループは女満別で学校教育グループは東藻琴での業務となっております。生涯学習課全体と一緒にあるというのはいいこともあるが、不便な点もあつたりすることがあると思います。この業務を両地区に効率的に振り分ける考えがあれば伺う。

町長

生涯学習課の社会教育グループ、そして学校教育グループがそれぞれ女満別地区、社会教育グループ、東藻琴地区に学校教育グループがあるということで、合併当時、研修会館の2階を女満別教育センターという名称を使っていますが、そのときには、女



網走湖

問

大空高校寄宿舎が完成して、コミュニケーション

岩原委員

大空高等学校交流拠点施設管理費

基本設計業務の中では、どのような機能を持たすのか。どこに建設するのか。どのタイミングで着工できるのか。その辺について令和5年度にまとめていきたいと考えています。その中の機能という中で、こういうホールをつくるかを協議、検討してまいりたいと考えています。

問

制服購入費の助成に関して、制服助成制度の目的である生徒確保対策については、一定の成果が出たという考えのもとに、令和5年度の予算



旧女満別高校校舎

教養

現在、大空町では特別支援教育を受ける児童生徒が増加しています。特別支援の学級数も増えている状況です。その上で、教育相談員を配置して、毎月1回、各学校に相談体制をしながら、学校と連携をしながら、一貫した支援の充実に努めているところであります。また補助教諭は特別支援学級の子どもたちのための支援をする教諭であり、来年度も4名、支援をするように取り組みを進めているところです。引き続き、きめ細やかな教育指導の充実を図ってまいりたいと思

町長

女満別小学校はオール電化で、すべて電気で賄われていて、この電気料金の高騰の中で、年々電気料金が高くなっている施設です。その先行きというのが見えない中ですので、今後どういう方策がいいのか、やはり町として将来に向けて、こういった自然エネルギーを活用して、二酸化炭素を極力排出しないことができるかということをしつかり取り組んでいかなければならないと思いますので、関係課と一緒に取り組んでまいりたいと思います。

満別側にも社会教育、そして学校教育グループの職員も常駐していました。現在は学校教育に携わる職員はいないと思います。やはり1番は町民の方に不便にならないような配置にするのが大前提ですので、二地区にそれぞれのグループが分かれているということに関しては、今後検討してまいりたいと思います。

美幌駐屯地について

後藤委員

問 101特科大隊が帯広市に駐屯している第5旅団の機動旅団改編に伴い3月に廃止されるということですが、この大隊は、旧女満別町や旧東藻琴村を警備隊区として数々の災害派遣に出動、さらに、担当する大空町で水難訓練を行うなど、地域と親密な関係を築いてきました。この隊が第6即応機動連隊に改編されるといことで、今後の影響について伺う。



東藻琴地区で防災訓練を行う101特科大隊

隊となりますが、引き続き、山岳の救難訓練や、湖の救難訓練、女満別空港での消防活動など、今後とも一緒になって取り組んでいただけるというお話を伺っています。新たに編成されます第6即応機動連隊と関係を深めるために、お力添えをいただけるようにこれからも協力し合いながら取り組んでまいりたいと思います。

福祉課

参事

国のほうで今後の検討している段階です。医療機関での調整機能については、まずは軽症中等症から医療機関として調整をして協議を進めていって、重症患者等については、今後、検討を進めながらなっています。医療機関との調整は保健所が担っていました。

新型コロナウイルス関連について

上地委員

問 3月10日に政府が決定をした事項について、5月8日に感染

問

特別支援教育を受ける生徒が増加を

上地委員

特別支援教育について

5月8日以降、2類から5類に移行して、ワクチン接種を行うところまではわかってはいますが、国から詳細なことが来ていないこともあり、情報が入りまじら、引き続き、町民の皆様にお知らせしたいと考えています。

問

女満別小学校の光熱水費

松岡委員

女満別小学校の光熱水費、これが1,867万5,000円予算計上されています。一昨年は約1,000万でした。今年度は当初予算で1,867万5,000円です。総務課長から全体として8,000万前後の増額が見込まれる





# 斜網地区広域ごみ処理基本計画について

## ゴミが資源となる時代に備えての中間処理施設の建設を願う

町長▶ 廃棄物のエネルギー資源としての有効活用を推進したい

**課長** 経費は国の交付金  
の活用が必須です。  
交付金は、他の自治体と  
連携し広域で整備検討が  
必須要件のため、令和2  
年8月より斜網地域の1  
市6町で協議を行いまし  
た。北海道ごみ処理の広  
域化計画では、当町は斜  
網ブロックとして1市5  
町網走市、美幌町、斜里  
町、清里町、小清水町、  
大空町で構成されていま  
す。令和2年12月に、中

**町長** 斜網地区広域ごみ  
処理基本計画は、  
関連するごみの量を設定  
して、施設の規模や運轉  
型式、収集運搬計画など  
整備に向けた方向性を定  
めた計画です。広域化は、  
令和4年7月11日に斜網  
地区廃棄物処理広域化推  
進協議会を設立し、基本  
的な協定事項を定めた覚  
書を交わしました。

**問** 1市4町網走市、  
美幌町、斜里町、  
小清水町、大空町の広域  
ごみ処理に関する計画案  
の概要で、広域化に関す  
る経緯と協定内容につ  
いて伺う。

間処理施設の整備が必要  
となり、令和3年12月に  
各市町、町長会議を開催  
し津別町、清里町を除く  
網走市、美幌町、斜里町、  
小清水町、大空町の1市  
4町で広域化を進めるこ  
ととなり、大空町で整備  
することによって、施設  
整備の第1候補地として  
協議、検討を進めるこ  
ととなりました。

**町長** 持続可能なごみ処  
理の推進は、ごみ  
の発生、抑制、再利用と  
再生利用の推進を基本理  
念とし、廃棄物行政を運  
営していく上で、基本的  
な方針でありますので、  
排出された廃棄物につ  
いて地域特性を考慮し、国  
の廃棄物処理基本方針に  
おける基本的な方向、廃  
棄物のエネルギー資源と  
しての有効利用を推進し  
ていく考えです。廃棄物  
の焼却熱利用だけではな  
く、脱炭素、ゼロカーボ  
ン施策を考慮して生ごみ  
等によるバイオガス発電

**問** この計画案の、持  
続可能なごみ処理  
の推進内容について伺う。

**課長** 基本計画基本構想  
を令和5年度に策  
定し、地域循環型社会形  
成推進地域計画を令和5  
年12月頃に環境省に提  
出。令和6年度に生活環  
境影響調査、環境アセス  
メントを実施告示、令和  
6年度から令和7年度に  
かけて施設の整備計画、  
実施計画。令和7年度か  
ら令和9年度で施設の建  
築工事を行い、令和10年  
度から供用開始という計  
画です。

**町長** 広域焼却処理施設  
の建設候補地は、  
当町の廃棄物焼却処理施  
設が稼働開始から37年が  
経過し、更新が必要とな  
っていること。また、他  
の1市3町からの位置が  
ほぼ中央に位置し、アフ  
セス面などから候補地と  
して選定したところです。

**問** 広域焼却処理施設  
の建設候補地と今  
後のスケジュールにつ  
いて伺う。

**町長** 協定書は、何時ど  
のような形で締結  
されるか伺う。

**町長** 協定は1市4町で  
中間処理としての  
焼却処理施設の建設に向  
けて連携し、これが具体  
化になって来たときに、改  
めて検討してまいります。

**問** 広域化に関する経  
緯と協定内容につ  
いて伺う。

**町長** 今、国では中間処  
理施設、焼却処理  
施設のような中間処理施  
設についてはできるだけ  
広域で処理を行うことに  
交付金をとっておりま  
すので、改めて町民の皆  
様に適宜お知らせしてい  
まいりたいと、考えて  
います。

**町長** ごみがイコール資  
源であるというの  
は私もそうに感じて  
います。  
また、候補地の関係で  
すが、都市部において町  
中に焼却処理施設が建設  
されているところもござ  
います。1市4町の最終  
処分場の使用期限、それ  
が迫っており新たな最終  
処分場整備するためには  
国の施策として中間処理  
施設を設け、ごみの減量  
化を図っていかなければ  
ならないということが必  
須の条件です。市街地の  
候補地として検討してく  
ているのは、現状におい  
ては厳しく、東藻琴地区  
の町有地に施設整備の候  
補地として選定させてい  
ただきました。

建設から37年経つ焼却施設



## 旧女満別幼稚園跡地の 利活用について

岩原 繁 議員



岩原議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(23分38秒から)

議員になり1年が経ちました。  
町民目線で質問を続けたいと思います。

## 住宅地区にある国有財産の有効利用を願う 町長▶ 土地の適正管理と早急の売却を要請する

**町長** 園地は大空町の所  
有地ではないこと  
から、使用が終わり、園  
舎を解体し国に返却いた  
しました。しかし、周辺  
は住宅地であり、町が土  
地を取得し宅地として活  
用することで、令和2年  
度に国と売却のため協議

**問** 旧女満別幼稚園  
は、令和2年10月  
1日に認定子ども園女満  
別への移管に伴い、閉園  
となり、その後施設は解  
体され、園跡地は整地さ  
れました。園跡地は国か  
らの借地のため返還され  
ましたが、現在の管理状  
況について伺う。  
また、現有状況では早期  
の整備計画を望む声もあ  
り、国から買い取り、移  
住、定住希望者などへの  
宅地分譲地として利用し  
てはとの意見もあります。  
園跡地の国からの払い  
下げを含めて、今後の利  
活用について伺う。

をしました。その際、土  
地の3分の1を公共用に  
使用するため取得するの  
であれば残り3分の2の  
土地は無償貸与する。実  
質的に土地売買代金の3  
分の1で購入できるとい  
う趣旨の説明を受けまし  
た。しかし、購入できる  
のは公共施設を建てるな  
ど条件付きであり、残り  
の土地は住宅地として活  
用する目的では国から町  
に売却はできないことか  
ら、町は、宅地以外での  
利活用方策を持っていな  
いので、園舎を解体撤去  
し更地にして令和3年11  
月30日付けで国へ返却し  
たところです。

**町長** 園跡地は1度も公  
売行為を行って  
いないので、改めて早急に  
公売を実施し、民間の方  
が、有効に活用頂くこと  
が重要であると考え、早  
急をお願いしました。

以上、園跡地は国有財  
産であり、場所が住宅地  
と隣接しているため、国  
に対し土地の適正管理を  
要請するなど、連絡を密  
にしてまいります。  
次に、町が直接宅地開  
発するのではなく、民間  
企業が土地を取得し、利

**町長** 園跡地は利便性の  
ある場所で、分譲  
するにも道路や上下水道整  
備は民間だけでは、土地を  
購入し宅地造成し、建物  
を建てる事は大きな負担が  
出ます。町も取得する方  
法を模索してはと思うが。

**問** 国の土地でありま  
すので、民間活用  
する場合、財務省は一般  
競争入札で告示して売買  
をするか伺う。

**町長** 町民や民間の方と  
町が競争して、入  
札に参加すべきではない  
と考えます。民間がその

土地を取得して造成する  
となると、道路や上下水  
道布設の公共施設の整備  
は、町が実施しています。

**町長** 園跡地は1度も公  
売行為を行って  
いないので、改めて早急に  
公売を実施し、民間の方  
が、有効に活用頂くこと  
が重要であると考え、早  
急をお願いしました。

**問** 園跡地は利便性の  
ある場所で、分譲  
するにも道路や上下水道整  
備は民間だけでは、土地を  
購入し宅地造成し、建物  
を建てる事は大きな負担が  
出ます。町も取得する方  
法を模索してはと思うが。

活用する方策もあると考  
えまして、本年2月20日  
国に對しまして、早急に  
土地の公売を実施してい  
ただく旨、要請したこ  
ろです。



女満別中央病院から近く、住宅地にある旧女満別幼稚園跡地



# 外国人観光客（インバウンド）に対する 多言語案内について

## インバウンドが運転するレンタカーの事故防止等について

町長▶多言語化を要請していききたいと考えている

**町長** 当町において利用できるレンタカー会社はほとんどが女満別空港前に所在しており、現在8社が営業しています。うち5社にて女満別空港レンタカー協議会を設置しており、インバウンドの増加に伴い、各社で事故防止に向けた対策が取られています。具体的には、スマホを活用してQRコードを呼び込み、日本の交通ルールを動画にて視聴して注意を促しています。目的地的な案内をするナビゲーションも、中国語、韓国語、英語、日本語の4か国語から選択できます。一時停止などの規制標識につきましても公安委員会設置、管理されており、関係機関に対し多言語化について要請をしています。当町が設置する注意看板ですが、老朽化により不明瞭となった看板等の

**町長** 大空町観光振興計画において、外国人観光客のニーズを的確にとらえ、おもてなしの心を持って対応するため、具体的な施策の一つとして、広域連携を含めた多言語表記案内看板を計画的に整備することとしています。町内の観光地案内の看板の一部には英語表記、ハングル語表記、簡体字表記、簡体字表記がされています。看板の配置や改修を含め多言語化に向けて今後検討していきたいと考えています。また、芝桜公園などは季節的な開催となるため、開催期間中はのぼりや旗などを活用し、今後もPRに努めます。

**町長** 交通標識に係る注意看板につきましても、英語表記というものを一部させていただいています。

**町長** 空港や駅には色々な文字で書いてある標識等がありますが、大空八景や両道の駅などにアクセスするための案内説明をできるものがあれ

**町長** 大空八景や、道の駅にアクセスするための案内説明、そういったものを多言語化で提供したいと考えています。

**町長** 外国人の方、大体の方がスマートフォンを持っていると思いますので、スマートフォン活用して案内を母国語に変換できるように工夫をしながら活用していきたい、案内できるように仕組みを構築していけたらと考えています。

**町長** 看板設置等につきましては、看板を設置するのではなくてQRコード読み込んで自分で携帯に落とすという方も、それもありかと思えます。ただ観光客、それが日本人であれ外国人であれその方の立場に立ってどういった方が見やすいかというところも、それと対応していきたいと考えています。

英語表記をした交通標識

# 外国人技能実習生確保のための環境整備について

大泉 知功 議員



大泉議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(21分05秒から)

介護の現場、農業の現場といるところなど人手不足です。まだまだ足りていないところにも支援が必要と考えています。



**町長** 東藻琴地区では平成18年以降現在まで酪農業の農業法人3戸で延べ26名の受け入れを行っています。最長で5年間の実習が可能となっております。本年3月1日現在計20名の外国人技能実習生が来町し、国別ではベトナム8名、インドネシア12名、女満別地区は、令和4年から農業経営の1事業所で外国人技能実習生の受け入れが開始されており、現在は短期間の受け入れが、延べ13名、本年3月1日現在では4名の方が実習しています。国別では、モンゴル1名、ベトナム2名、インドネシア4名、フィリピン2名、カンボジア4名です。今後の見込みについて、現在受け入れていますが両



農業の仕事を行う技能実習生

**町長** 外国人技能実習生は日常会話程度の日本語力が条件とされていることから、語学などの研修を受けています。受け入れ事業所の管理団体が来日後の研修を実施

**町長** 外国人技能実習生の受け入れに係る課題と環境整備について伺う。

**町長** 受け入れ住宅の確保が1番の課題です。実習生の入居する住宅は、受け入れ事業所が確保することが基本ですが、社宅等がない場合、民間住宅等の確保が必要です。東藻琴地区は、民間住宅が少なく、受け入れ事業所から事前に町に相談があり、用途廃止予定の公営住宅や職員住宅をお貸しするなどの対応をしています。廃止予定の住宅のため、老朽化が進んでおり、住宅の改修について、受け入れ事業者が負担することを条件に、3事業所に対して旧公営住宅3戸、旧職員住宅3戸を貸しています。女満別地区は、民間住宅等の確保が比較的容易であり、短期間の場合には、メルヘン公園にある町の新規就農者技術習得管理施設を利用いただいている状況です。今後も町として可能な範囲で受け入れ事業所の相談に応じて協力していきたいと考えています。



介護の仕事を行う特定技能実習生

**町長** 外国人技能実習生の現状について伺う。

地区4事業者は、継続もしくは受け入れ者数の拡大を予定しており、両地区の福祉事業系2事業所でも令和5年中にベトナムから2名の外国人技能実習生、ミャンマーから3名の特定技能実習生の受け入れを予定しています。

**町長** 受け入れ住宅の確保が1番の課題です。実習生の入居する住宅は、受け入れ事業所が確保することが基本ですが、社宅等がない場合、民間住宅等の確保が必要です。東藻琴地区は、民間住宅が少なく、受け入れ事業所から事前に町に相談があり、用途廃止予定の公営住宅や職員住宅をお貸しするなどの対応をしています。廃止予定の住宅のため、老朽化が進んでおり、住宅の改修について、受け入れ事業者が負担することを条件に、3事業所に対して旧公営住宅3戸、旧職員住宅3戸を貸しています。女満別地区は、民間住宅等の確保が比較的容易であり、短期間の場合には、メルヘン公園にある町の新規就農者技術習得管理施設を利用いただいている状況です。今後も町として可能な範囲で受け入れ事業所の相談に応じて協力していきたいと考えています。

**町長** 外国人技能実習生の受け入れに係る町の方角は？

応じて協力していききたい



# 外国人技能実習生等の受け入れ環境の充実について

## 時代に即した従業員住宅環境等の充実・生活文化等の相互理解の推進を

町長▶受け入れ事業者・団体や技能実習生等の要望把握に努める

**町長** 外国人技能実習生が、快適な環境で暮らしていただくことは、とても大切なことであると思います。受け入れ企業、事業所からの要望に応え、廃止予定の町営住宅や職員住宅を改修や備品整備等は、受け入れ事業者負担を条件に貸与する対応をしています。また、従業員住宅助成金の活用や空き家バンクでの賃借物件の紹介なども行っています。産業・商工、福祉関係の各担当が関係団体と連携をとり、要望や状況を把握し、町でできることはなにか、どこまでできるか、親身になり対応し、外国人技能実習生による地域雇用を促すことを積極的に進めていきたいと考えています。

**問** 外国からの技能実習生等の受け入れが増加するなど町内企業の従業員構成が変化してきている。就労者の生活・住居環境等の充実対策を伺う。

**問** 外国人技能実習生等の方々には、町民税や社会保険料等納税義務を果たしている。公共施設の利用、スポーツ、芸術文化活動に参加する機会等の保障について伺う。

**問** 現況の地域公共交通機関では、東藻琴地区から美幌・北見方面への移動手段は、地域間バス等に限られている。外国人実習生が買い物に行く移動手段確保の観点からも地域公共交通に関する検討を進める必要があると思うが。

**町長** 東藻琴地区から北見方面への移動手段が交通については、当面は行政として対応できるというところには至りません。受け入れ事業者の方で、買い物支援対策等の配慮をお願いしたいと思っています。今後とも関係部署と連携を取りながら地域公共交通網のあり方を検討していきます。

**教養長** 町民300歳交歓バレーボール大会や実習生が母国の料理を伝える交流などが行われています。今後も実習生が日本や地域の文化を知る機会を設けると共に、町民の皆さんが実習生と交流することで、国際理解を深め異文化理解につながる機会づくりに努めていきます。学校現場では、町内在中の外国の方との異文化交流について検討し、コミュニケーション能力を高める国際理解教育の推進を図りたいと考えています。



町民300歳交歓バレーボール大会メンバーとして楽しく交流する技能実習生

**メモ** ※2 医療マース: 医療機器を搭載した車両に看護師が同乗し、患者の自宅に向き、車内で病院にいる医師がテレビ会議システムを活用して診察し、看護師による処置や検査を受けるサービス。

※1 東オホーツク定住自立圏共生ビジョン協定



# 私たちの暮らしと定住自立圏について

鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(48分20秒から)

町民への情報提供は、より分かりやすい工夫が必要であるとの観点から質問しました。

**町長** 平成23年に協定を締結したが町民生活にどう反映されているのか伺う。

**町長** 医療分野の救急搬送体制の整備、網走厚生病院脳神経外科開設の取り組みのほか、観光、産業、環境分野で事業の効率化を図っています。また、公共施設相互利用連携として、大空町民が網走市の公共施設を利用する際には、市民と同料金で使用できるようになっています。

**町長** 医療では救急医療、周産期医療、脳神経外科医療体制が確保されています。環境では下水道終末処理施設、し尿処理施設の共同処理などで連携効果があります。今後は、一般廃棄物焼却処理施設整備などのごみ

**町長** 救急医療体制の救急搬送については、町民への周知、理解と協力が重要です。また、網走市の新たな医療マースの取り組みや周産期医療体制の維持について、積極的な情報交流が必要ではないか。

**町長** 今年度の救急搬送は、女満別、東藻琴地区ともに今までになく多い状況です。一次搬送は地元病院が担うことになっていますが、病気によっては、直接専門病院へ搬送することができるといいう事を広報等で周知していきます。また、医療マース等網走市での先進的取り組みの情報提供をいただき、連携して何ができるかも検討していきます。

**町長** 大空町は、広域協同議4市町の中でリサイクル率は上位、ごみ排出量も1番少ない状況です。担当者が広域協同でリーダーシップを発揮し、事業計画立案にあたる支援体制が必要とすることが。

**町長** これからのごみ処理施設は、小学校の社会科見学で活用できる、きれいで整然とした施設が求められると思うので、1市4町で検討していきたいと考えています。

**町長** 町民皆様には、ごみの分別で頑張っていたいただいています。職員は広域協同で、積極的に発言しており、私としても職員を応援していきたいと思っています。

**町長** 施設の相互利用は、協定によるメリットであり、施設の有効活用につながります。利用案内PRのあり方を伺う。また、スポーツイベントにおけるPR活動等の相互連携についても検討してはどうか。

**教養長** 網走市とは、図書館を始め、女満別運動公園野球場、武道館などの教育施設の相互利用が行われており、レイクビュースキー場やモヨロ貝塚館を活用した体育や歴史文化を探索する授業も行っています。また、網走市では、毎週土曜日と子ども日は、博物館や美術館などの文化施設及び総合体育館やプール、スキー場などを小中学生に無料で開放しており、大空町の小中学生も同様に無料で利用できます。

一方で施設利用に関する情報共有やPRが十分であると認識しており、町民の皆さんに最新情報をお知らせするよう努めてまいります。ふきおろしマラソン大会等のイベントの相互連携については、今後検討していきます。

# 網走市との定住自立圏形成効果が町民生活にどのよう反映されているのか

## 町長▶医療機能の充実、衛生環境の向上や公共施設利用の効率化等に反映

**町長** 医療分野の救急搬送体制の整備、網走厚生病院脳神経外科開設の取り組みのほか、観光、産業、環境分野で事業の効率化を図っています。また、公共施設相互利用連携として、大空町民が網走市の公共施設を利用する際には、市民と同料金で使用できるようになっています。

**町長** 医療では救急医療、周産期医療、脳神経外科医療体制が確保されています。環境では下水道終末処理施設、し尿処理施設の共同処理などで連携効果があります。今後は、一般廃棄物焼却処理施設整備などのごみ

**町長** 救急医療体制の救急搬送については、町民への周知、理解と協力が重要です。また、網走市の新たな医療マースの取り組みや周産期医療体制の維持について、積極的な情報交流が必要ではないか。

**町長** 今年度の救急搬送は、女満別、東藻琴地区ともに今までになく多い状況です。一次搬送は地元病院が担うことになっていますが、病気によっては、直接専門病院へ搬送することができるといいう事を広報等で周知していきます。また、医療マース等網走市での先進的取り組みの情報提供をいただき、連携して何ができるかも検討していきます。

**町長** 大空町は、広域協同議4市町の中でリサイクル率は上位、ごみ排出量も1番少ない状況です。担当者が広域協同でリーダーシップを発揮し、事業計画立案にあたる支援体制が必要とすることが。

**町長** これからのごみ処理施設は、小学校の社会科見学で活用できる、きれいで整然とした施設が求められると思うので、1市4町で検討していきたいと考えています。

**町長** 町民皆様には、ごみの分別で頑張っていたいただいています。職員は広域協同で、積極的に発言しており、私としても職員を応援していきたいと思っています。

**町長** 施設の相互利用は、協定によるメリットであり、施設の有効活用につながります。利用案内PRのあり方を伺う。また、スポーツイベントにおけるPR活動等の相互連携についても検討してはどうか。

**教養長** 網走市とは、図書館を始め、女満別運動公園野球場、武道館などの教育施設の相互利用が行われており、レイクビュースキー場やモヨロ貝塚館を活用した体育や歴史文化を探索する授業も行っています。また、網走市では、毎週土曜日と子ども日は、博物館や美術館などの文化施設及び総合体育館やプール、スキー場などを小中学生に無料で開放しており、大空町の小中学生も同様に無料で利用できます。

一方で施設利用に関する情報共有やPRが十分であると認識しており、町民の皆さんに最新情報をお知らせするよう努めてまいります。ふきおろしマラソン大会等のイベントの相互連携については、今後検討していきます。



# 親しまれる議会だよりを目指して

## ～議会広報モニター連絡会議を開催～

議会だよりに町民の声を反映するため導入している「議会広報モニター連絡会議」を令和5年3月22日に開催し、議会広報活動へのご意見をいただきました。主なご意見は次のとおりです。



- 見出しの色が、紫だったり、オレンジだったり。紫がうるさく感じる。
- 議会の傍聴はお気軽にと一緒にYouTubeのQRコードを載せる。
- 表示とかイラストが大体同じ。開いたら見づらいついてしまう。

## 議会広報モニターを募集します

**任期** 2年間（最初のモニター会議から）  
**募集人数** 5人  
**役割** 議会広報活動への意見などを議会広報モニター連絡会議（年2回予定）の場において提案いただきます。  
**謝礼** 大空町商工会商品券（会議参加1回につき2,500円）  
**応募方法** 様式は問いません。「応募の動機」「氏名」「住所」「生年月日」「電話番号」を記入の上、郵送・FAX・持参により応募ください。  
**応募先** 大空町議会事務局  
 住所：大空町女満別西3条4丁目1番1号  
 電話：0152-74-2111（内線266） FAX：0152-74-2191  
**応募締切** 令和5年7月31日（月）まで

## 議会にあなたの声を聴かせてください

大空町議会では、より多くの町民から意見を聴き、町民と議会の関係をより近づけられるよう、議会報告会のほか、団体や任意のグループ、次世代の担い手など（各団体等）を対象とした懇談会の開催に取り組んでいます。  
 議会から各団体等へ、各団体等から議会へ懇談会開催の申込みを行うことができ、議会からは少人数の議員が参加します。  
 各団体等で議員と懇談したいなど希望がありましたら、議会事務局までご相談ください。

## 議会の傍聴はお気軽に!

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。また、臨時町議会は必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。
- ◆詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

6月定例会は、  
**6月19日(月)から**  
 開かれる予定です。

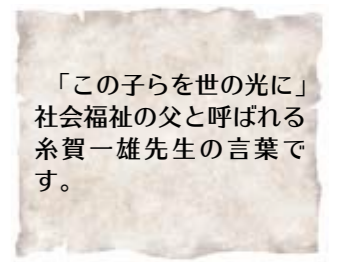


## 障害者総合支援法の取り組みについて

上地 史隆 議員



上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。（46分03秒から）



## 障がい者が地域で自立した生活を送るには

### 町長 今後のような支援が必要か

**問** 障害者総合支援法は、住み慣れた地域での生活を実現するために障がいがある方に対して総合的な支援を行う法律であり、身体障害、知的障害、精神障害（発達障害）、政令で定める難病等により障がいがある方が対象となっている。この法律に基づく自立支援給付の基本的な運用ルールは厚生労働省が定めており、サービス費用の一部を行政が障がいのある方に給付するものだが、大空町のサービスの現状を伺う。

また、地域生活支援事業は、障がいのある方が個々の能力や適性に応じて自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう市町村が地域の実情に応じて柔軟に実施することができ、大空町のサービスの現状を伺う。

**町長** 障がい者福祉センターがグループホーム短期入所、生活介護、就労継続支援B型、相談サービスを提供しており、町からの指定管理及び委託を受けて東藻琴福祉会が運営しています。令和4年9月に就労継続支援B型の就労内容を拡充し、女満別地区で弁当の製造販売が行われています。このほか、女満別福祉会及び東藻琴福祉会のヘルパーシフトが、障がいの者のホームヘルプサービスも提供しています。町内に地域生活支援事業の指定を受けている事業所はありません。必要に応じて、移動支援、地域活動支援センター、日中一時支援のサービスを主に網走市の事業所で利用いただいています。また、基幹相談支援センターについては、令和3年

**問** 自立支援給付の就労移行について、就労継続支援A型、就労継続支援B型ともに合わせて地域で安心して仕事をできる環境もつくつていかなければいけないと考えるが。

**町長** 就労継続支援A型はある程度の業務を遂行できますが、就労継続支援B型については、町では朝日ヶ丘公園パークゴルフ場や運動公園のトイレ清掃業務などをお願いしている状況です。なかなか利用者の実際の状態と仕事内容とのマッチングが難しいところがあり、行政としてもしっかりとその役割を果たしていかなければならないと考えています。

**問** 障がい児の通所支援サービスについて、大空町の事業所開設というものが望まれているのではないかと考えています。令和5年度に次期障がい福祉計画、障がい児福祉計画の策定が行わなければならないと思います。関係団体の意見やアンケート調査も踏まえ、議会にも相談させていただきます。

**町長** 障がい児の通所支援サービスについては、保護者や関係団体からも町内での事業所開設というものが望まれているのではないかと考えています。令和5年度に次期障がい福祉計画、障がい児福祉計画の策定が行わなければならないと思います。関係団体の意見やアンケート調査も踏まえ、議会にも相談させていただきます。

**問** 障がいの理解促進啓発など、本当地域で自立した生活を営むうえで、地域住民の理解、支援も必要だと考えるが。

**町長** 町としても積極的に広報等を普及していかなければならないと考えています。

**町長** 東藻琴地区はグループホームがありますが、女満別地区にはない状況ありません。ただ、はなぞの公住のシルバーハウジングは、高齢者と障がい者の方が同居できる住宅になっていきます。生活援助員による相談や見守りを受けられる施設となっているので、まずは既存の資源を有効活用したいと考えています。



シルバーハウジング支援員





# 議会報告会・町民との意見交流会を開催



大空町議会の活動内容を報告するとともに、町民の皆さんと「まちづくり」について語り合う『令和4年度 議会報告会・町民との意見交流会』を2月18日に東藻琴老人福祉センター、女満別老人福祉センターにて開催しました。

48名の方の参加をいただき、たくさんのご意見等をいただきましたので、主な内容をお知らせします。

主な質問・意見等	議会側の回答
●近年、焼却処理施設の整備回数が多いが、その主たる要因を考えているのか。網走からおむつをこちらに運んで焼却していると聞くと、おむつは焼却炉にとって負担が多い。	◆おむつを燃やしていることと整備回数の増加に因果関係はなく、経年劣化による修繕が多くなっています。
●広域での分別方法はどうか。	◆分別方法は1市4町統一すべきだと、町に申し入れています。
●東藻琴の認定こども園からB & G海洋センターの駐車場に続くところの道路に横断歩道を設置してほしい。併せて、図書館とB & Gの間を通る駐在所に向かう道で、こども園のところの道路上に書かれている文字と赤い三角の止まれ文字が薄れて見えないような状況になっている。	◆公安委員会に対し検討してもらうよう町に申し入れます。
●国道334号の大進橋から新富に上がるカーブ手前の直線に大きな穴が開いていた。期成会で要望してもらいたい。	◆建設課を通し、雪解けと同時の点検、補修を申し入れます。
●インバウンドの方々事故を起こさないよう、標識の英語表記を広域で対応してほしい。	◆日本語だけの表記でなく、何らかの表記をすることが大事だと思っています。すぐに解決できる問題ではないですが、少しでも前に進むよう努力させていただきます。
●伐期齢を過ぎている森林がかなりあります。議員の皆様には、現地に行っていたら、どこに町有林があって、どういう状況なのか、一度お調べをいただきたいと思っています。	◆雪解けになりましたら担当課とも協議をさせていただいて、調査したいと思っています。
●今年度の芝桜公園の整備、それと今後、どんな計画を立てているのかお伺いしたい。温泉も垂れ流しで、資源としてもったいないと思う。	◆病虫害の発生や、芝桜自体が古くなったことにより、ドローンを使った除草や代替の苗を植える場所を確保するようにしています。資源が枯渇しないように、また、たくさんお客さんに来ていただくような整備を町と共に私どもも協力して進めていきたいと思っています。
●トラクターの自動運転が当たり前になっているが、風防林の倒木、日陰がGPSの障害になっているので、調査、対応してほしい。	◆農林省への要望書の中に整備してほしいということを入れています。なかなか進んでいないのが実態です。引き続き、要望していきます。
●大空町でもシニアだけではなく、スマートフォンを活用した講習を行っていただければと思います。	◆高齢者に対するそらナビ講習会を行っています。なかなか効果的に広がっていないのかなという思いもあります。町民の皆さんと一緒に勉強できるような場をつくっていくよう町に申し入れます。
●12月11日に高校の公開プレゼンテーションがあり、大きな新しい試みだと私は理解しています。若い人方の意見がすぐ行政に反映できるかどうかは予算も伴うことですが、既存概念を打破するためには若い人方の意見が大事だと思います。今後も続けていく考えがあるのか、ないのか。行政が考えることではありますが、議会としてどう考えるか、お伺いしたい。	◆町と協議をしながら進めなければなりません。若い人たちの意見は大事にしていきたいと思っています。

主な質問・意見等	議会側の回答
●水田活用の直接支払交付金制度が切れる見込みとなり、畑地化支援ということで国から交付金が出るようになっていくが、国の予算も限られている中で、手を挙げた農家全員が国の交付金が当たるのかどうか未だわからない状況となっています。ポイント制で足切りもあるかもしれないという話も出されており、町から国等へ働き掛けが出来るのであればよろしくお願いします。	◆令和4年度補正予算の額は、全国で250億円ということで、単純に女満別地区が畑地化することを考えると36億円に上ります。現在、町（産業課）にて取りまとめの集計等を行っている段階ですが、『予算が足りないのではないか。』ということとは私どもも十分認識しているところです。この問題については、議会側としても共有させていただき、農協や農民協議会、農業委員会等と意見交換を図りながら取り組んでいきたいと話しています。
●酪農についても生産調整等の中、搾乳牛の減頭や、カレント・アクセス（現行輸入機会）貿易協定によって輸入が義務付けられ、多くの乳製品が外国から輸入されているという、とんでもない国の方向・施策となっています。また、畑作についてもビートの減産ということで輪作体系にとっても非常に大きな問題です。農家にとっては、大変厳しい状況等で進んでいる中、町の財政にもかかわることなので、議会として対応していただければと思います。	◆大空町の基幹産業は農業であり、農業が弱体化すると地域社会も成り立たなくなります。また、関連する産業にも大きな影響を及ぼすことが考えられますので、議会側としても、皆さんと課題を共有し、町、関係機関等に対して働き掛けたいと思います。
●子育て問題は、国会でも非常に大きな問題として議論されています。町内では、教育問題、給食の関係で若干の話がありましたが、それ以外の問題等はないのでしょうか。手厚い行政というものは実現できていますか。	◆中学生までの医療費無償化について、令和5年度から所得制限を撤廃する方向で調整していると聞いています。他の市町村に負けたくない子育て問題に力を入れて取り組んでいます。  大空町は、管内でも一早く給食費の無償化に取り組んでおり、近隣町の住民の方から、「大空町は良いですね」とお褒めの言葉も寄せられています。
●次の世代のことを考えると、思い切って管内トップクラスまで議員報酬を上げて、議員の成り手を確保することも大事なことだと思います。	◆町村議会は、市議会から見ると議員報酬額は低いです。議員活動をしていないということではありません。将来的には、議員報酬は上げた方が後任の方もできるのかなと思います。また、大空町議会は、現在、女性議員がおりません。国では女性議員の数を全体の3割を目標としています。そういう環境づくりの一つとして議員報酬なども関連するのではないかと思います。
●町外から、大空町に住みたいと希望される方が結構ありますが、それに見合った土地や中古住宅が提供できるような状況ではありません。町として、土地の取得、整備、上下水道を含めたある程度思い切った施策を取っていただかないと、宅地や商業用地、企業進出もうまく進んでいかないのではないかと思います。	◆大空町へ「移住して生活をしたい。」と希望される方の当面の生活場所の確保のため、例えば、町内の空き室となっている公営住宅が用途変更できるのであれば、仮住まいとして先ずはお住まいをいただいて、それからじっくりと腰を置いてお住まいになる住宅等を探していただく。移住・定住にスムーズに移行できるような方向について、議会としてもこれから町と一緒に協議を進めたいと思います。
●3月26日からのピーチ・アビエーション夏ダイヤでは、女満別～成田線の運休と、女満別～関西国際空港線の減便が発表されました。このような時こそ観光インバウンドに関するマスタープランを策定し、「もう1回女満別便を増やそう。」とピーチに言っていたらどうかなと思います。	◆町側、議会側双方が情報収集に努め、人口減少社会を抑制し、魅力あるまちづくりにつながっていくと思っていますので、共通認識を持って町へ要請していきたいと考えています。
●商店や飲食業の方から、燃料や電気代が高くて、「店を開けられない。」という話を聞きました。資材高騰、電気代の話も世論の中で大きな問題になっていますので、議会の中でも要望という形で商店や飲食店を助けてあげられたら、我々も消費の分野とかで協力できるのではないかと思います。	◆町では、燃料・物価高騰への対応として、中小企業1事業所に対し、5万円の助成を行いました。燃料・物価高騰が続いていますので、議会としても今後の対応等について町と協議して進めたいと思います。



# Voice 町民の 声



## はじめての 議事堂コンサート

平田 紀子 さん  
(琴傳流大正琴 琴蒼会 櫻花サークル)

アンサンブル大正琴 櫻花サークルが誕生して21年間、東藻琴・女満別の仲間が集まり大正琴を楽しんできました。

女満別でのロビーコンサート、隔年の全国大会、道大会など参加してきましたが、コロナウイルス発生後の3年間大きな行事をすることが難しくなりグループごとに練習を積んできました。

今回、大空町のご協力により議事堂でのコンサートを

開催することができ、大変感謝しております。

議事堂はコンサートホールとして機能も素晴らしいと思いました。町民が誰でも気軽に利用できる議事堂になればと思います。私たちも楽しく演奏ができました。

今後は、両地区の仲間と連携し大正琴を多くの方に聞いていただくよう、頑張りたいと思います。

今回のコンサート開催のためにご協力いただいた皆さんに、心よりお礼申し上げます。

### なつかしの校舎

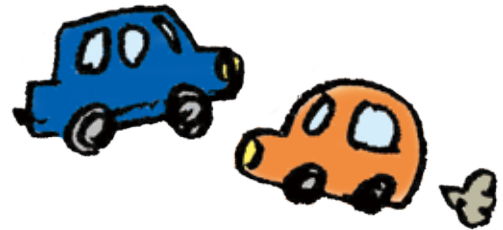


東藻琴 末広小学校

末広小学校は、大正3年の山形、福島団体の移住に伴い、学校設置の機運が盛り上がり、大正5年藻琴尋常小学校上藻琴特別教授所として、現在の末広会館東側の地に30坪の葎葎き屋根の校舎を新築し、児童20名で開校。昭和15年に区名変更に伴い末広尋常小学校に改称、児童数は178名を数えました。

昭和16年に末広国民学校、昭和22年に末広小学校に改称。昭和41年には、学校創立50周年記念式典が挙行されています。

昭和46年東藻琴小学校に統合。卒業児童数は728名。統合後の校舎は、末広地区公民館、開拓資料館に活用されました。



## 中央自動車工業 株式会社

～ 営業品目 ～

車 検・整 備

定 期 点 検

板 金 塗 装

車 両 販 売 新 車 ・ 中 古 車

自動車保険 コンサルトジャパン(株)提携

〒099-2327

網走郡大空町女満別西7条4丁目3番9号

TEL 0152-74-3855 FAX 0152-74-3966

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

今後ともよろしくお願いたします。

議 長 原本哲己(発行責任者)  
委 員 長 鈴木秀之  
副委員長 上地史隆  
委 員 森賀祐司  
委 員 福田淳一  
委 員 大泉知功

私たちが編集しました

議会広報常任委員会

『なるべくなら、すべての機会を活かしたい。』  
その後の9月、12月、3月は、一般質問につなげることができました。  
今後ともより一層の町民の皆さんが暮らしやすいまちづくりのため、たくさんの方の声を町政に反映させていきたい。そう思う今日この頃です。  
(広報常任委員 大泉 知功)

編  
集  
後  
記

UD FONT

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより「おおぞら」  
第68号

発行/大空町議会  
編集/議会広報常任委員会  
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号  
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191  
ホームページ http://www.town.ozora.hokkaido.jp

